

# GAJ News



グリーン連合  
GREEN ALLIANCE Japan

●発行日 2015年11月15日  
●発行者 中下裕子・藤村コノエ・枚本育生  
東京都千代田区神田須田町2-2-5 CTNビル  
地球と未来の環境基金内  
<http://greenrengo.jp/>

## 京都で西日本交流会を開催 20団体40名が出席

グリーン連合が発足して初めての西日本交流会が8月23日、京エコロジーセンター（京都市）で開催しました。第1部は、藤井絢子幹事（菜の花プロジェクトネットワーク）の進行で、藤村コノエ共同代表（環境文明21）から設立の経緯と発足総会の説明、続いて枚本育生共同代表（環境市民）から設立の趣旨、規約と組織の説明、そして中下裕子共同代表（ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議）から、これまでの活動報告（環境省への挨拶、設立総会、与党国會議員への挨拶回り、望月義男環境大臣表敬訪問、第1回国会議員との意見交換会）がありました。

第2部は大久保規子大阪大学大学院教授・幹事（オーフスネット）から「なぜグリーン連合が必要なのか」の講演があり、ヨーロッパの環境団体の連合と比較しながらグリーン連合の社会的必要性や期待できること、NGO／NPOの政策決定過程への参画保障の世界的潮流などについて具体的な説明がありました。

第3部は、田浦健朗さん（気候ネットワーク）と太田航平幹事（地域環境デザイン研究所 ecotone）の進行で、

参加者が4つのグループに分かれてのワークショップが行われました。テーマは「グリーン連合に期待すること」「自分に何ができるか」。「期待すること」では、国会議員や地方議員への働きかけ、NGO間での情報共有と学び合い、誰もが参加できるロビィングの仕掛けづくり、税の使い道の提案、資金調達、政策提言のサポート、また「自分に何ができるか」では、環境利益の調整役、環境白書を手伝いたい、海外へのメッセージ発信、議論に参加する、話し合いのサポート、グリーン連合の宣伝などで短時間にもかかわらず多様な意見が出されました。

参加者は、NGO／NPO36人（20団体）、近畿地方以外に広島、岡山からの参加者もありました。マスメディア2人（京都新聞、朝日新聞）、滋賀県会議員1人、国会議員秘書1人の合計40人でした。このような交流会を各地で催すことで、グリーン連合の活動をより全国的なものに発展させていくことが見えてきました。

◆文責：枚本 育生、山田 岳



### 緊急告知！

### 関東地域交流会開催決定

12月13日（日）13:30から東京都南部労政会館（大崎）にて。活動報告や参加団体の紹介、ワークショップを行います。

### ●新規会員のご紹介

これまでに新しく会員になられた団体をご紹介します。

- 埼玉西部・土と水と空気を守る会
- 小平・環境の会
- 環境まちづくり NPO エコメッセ
- NPO 法人森林資源活用バンク
- NPO 法人中野・環境市民の会
- 緑の大阪
- NPO 法人レインボー
- NPO 法人 A SEED JAPAN
- NPO 法人サークルおてんとさん

### ● グリーン連合・アドバイザーのご紹介 ※2015.10.20現在 敬称略

- 西岡 秀三：（公財）地球環境戦略研究機関 研究顧問
- 内藤 正明：京都大学名誉教授（環境システム工学）
- 高月 紘：京都大学名誉教授（廃棄物・資源循環）
- 増井 利彦：国立環境研究所 統合評価モデリング研究室 室長
- 田崎 智宏：国立環境研究所 循環型社会システム研究室 室長
- 楠部 孝誠：石川県立大学生物資源工学研究所講師
- 明日香壽川：東北大学教授（環境科学政策論）
- 広井 良典：千葉大学総合政策学科教授（公共政策論）
- 倉阪 秀史：千葉大学法政経学部教授（環境政策論）
- 山川 肇：京都府立大学准教授（循環型社会論）

# 環境相や与党議員を訪問 国会議員との意見交換も



グリーン連合では、今年6月の結成以降、環境政策の前進をめざして、政府や国会議員への働きかけを行ってきました。また、市民版環境白書づくりを始めています。

## ●環境相や与党議員を訪問

7月23日には、政府与党の環境派国会議員である、山本公一衆議院議員（自民）、齊藤鉄夫衆議院議員（公明）、北川知克衆議院議員（自民）、鈴木俊一衆議院議員（自民）、鴨下一郎衆議院議員（自民）、浮島とも子衆議院議員（公明）を訪ねました。私たちの訪問に対して、議員ご本人が熱心に話を聞いて頂き、中には秘書が対応されたところもありましたが、予定時間を超過するほどでした。

続く24日には、望月義夫環境大臣（当時）を表敬訪問。「環境省をウォッチもするが、基本的に応援している」と伝えました。大臣からも歓迎する旨、お話がありました。

## ●国会議員との意見交換会開催

また、グリーン連合の活動の柱の一つ「国会議員との意見交換会」第1回が7月27日、参議院議員会館でひらかれました。

参加・発表団体は、環境市民、原子弹資料情報室、環境文明21、化学物質による大気汚染から健康を考える会、バイオマス産業社会ネットワーク、菜の花プロジェクトネットワーク、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議、気候ネットワーク、容器包装の3Rを進める全国ネットワーク、足元

から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ、ただすのもり環境学習研究所、雨水市民の会（発表順）でした。

国会議員の参加者は、田島一成衆議院議員、福島瑞穂参議院議員、北川知克衆議院議員（秘書）、浮島とも子衆議院議員（秘書）、福山哲朗参議院議員でした。

議員のスケジュールにあわせたため急な開催となりましたが「互いを知り、課題を出し合う」という意味で、有意義な意見交換で、様々な分野で課題は山積していることが改めて、確認されました。グリーン連合では、今後も適宜開催していく予定です。

今回参加できなかった団体の皆様も、次の機会には是非ご参加ください。

## ●市民版環境白書を作ります

グリーン連合では、政府の環境政策について、市民の立場から課題などをチェックする市民版環境白書を作成

する構想を進めています。

市民版環境白書は「グリーンウォッチ」というタイトルで、内容は大きく4つの章に分かれており、①日本の環境政策の課題とそれに対する提案、②主要政策事項の点検、③福島原発事故がもたらした未解決の課題、④国内外の注目すべき動き、について執筆していきます。特に、今回は主要政策事項では、気候変動問題、再生可能エネルギー、原発、化学物質、廃棄物、生態系について触れる予定です。

グリーンウォッチは、年内に第一次原稿を書き上げ、校正しながら、来年6月の環境月間に間に合うよう、5月5日こどもの日の完成をめざしています。

これまで日本の環境政策全般について市民の立場から網羅的にチェックし、まとめるのは、おそらく初めての試みになると思います。ご期待ください。

## <これまでの活動経過>

### 06.05 グリーン連合発足！

#### ●第1回幹事会

- ・顧問の委嘱、アドバイザーの依頼、当面の活動（環境緑書づくり、国会議員対応、環境省等との意見交換、情報発信など）

#### 07.17 ●第2回幹事会

- ・グリーンウォッチ（市民版環境白書）構想について

#### 07.23 与党環境派議員を訪問

#### 07.24 望月環境大臣（当時）を訪問

#### 07.27 国会議員との意見交換会（第1回）

#### 08.18 ●第3回幹事会

- ・国会議員意見交換会報告、グリーンウォッチ執筆について

#### 08.21 KBS京都放送でグリーン連合の活動が紹介される

#### 08.23 西日本交流会を京都で開催

#### 09.04 ●第4回幹事会

- ・西日本交流会開催報告

#### 09.30 GLOBE アジア・パシフィック議員フォーラム

#### 10.15 オリンピック・パラリンピックにおける持続可能性に関するNGO連携意見交換会

#### 10.16 ●第5回幹事会

- ・自然保護団体（WWF・日本自然保護協会・日本野鳥の会）と意見交換

#### 10.21 環境省地球環境審議官と意見交換